

## 新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成22年 2月 9日																				
		事業担当課		防災砂防課																				
<b>事業名</b>	おおはたさわ 大畑沢特定緊急砂防事業	<b>補助・単独の別</b>	補助	<b>事業主体</b>	宮城県																			
<b>施行地名</b>	とめしつやまちようよこやまあざおおはた 登米市津山町横山字大畑地内			<b>管理主体</b>	宮城県																			
<b>根拠法令</b>	砂防法第13条																							
<b>事業の概要</b>	<b>事業目的</b>	<p>大畑沢は登米市津山町横山に位置する溪流であり、平成21年10月8日、台風18号による時間雨量58mm、24時間連続雨量273mmの集中豪雨により土石流が発生し、下流の人家10戸に床上床下浸水等の被害を与えたため、災害関連緊急砂防事業として採択された。</p> <p>災害関連緊急砂防事業で砂防えん堤は完成するが、下流域には不安定土砂が残留しており二次災害が危惧されるため、特定緊急砂防事業にて溪流保全工L=200mを実施するものである。</p>																						
	<b>事業内容</b>	溪流保全工 L=200m																						
	<b>事業費</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 ( )</th> </tr> <tr> <td></td> <td>[ 50 %]</td> <td>[ 50 %]</td> <td>[ %]</td> <td>[ %]</td> </tr> <tr> <td>0.60億円</td> <td>0.3億円</td> <td>0.3億円</td> <td>億円</td> <td>億円</td> </tr> </table>				全体事業費	費用負担内訳				国	県	市町村	その他 ( )		[ 50 %]	[ 50 %]	[ %]	[ %]	0.60億円	0.3億円	0.3億円	億円	億円
	全体事業費	費用負担内訳																						
国		県	市町村	その他 ( )																				
	[ 50 %]	[ 50 %]	[ %]	[ %]																				
0.60億円	0.3億円	0.3億円	億円	億円																				
<b>事業期間</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 30%;">事業期間</td> <td colspan="3">平成22年度～平成22年度 ( 1年間)</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成22年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成22年度</td> </tr> </table>				事業期間	平成22年度～平成22年度 ( 1年間)			用地買収着手予定年度	平成22年度	工事着手予定年度	平成22年度												
事業期間	平成22年度～平成22年度 ( 1年間)																							
用地買収着手予定年度	平成22年度	工事着手予定年度	平成22年度																					
	<b>施設管理の予定</b>	宮城県が当該砂防施設を管理する。																						

事業の必要性	上位計画等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木行政推進計画（宮城県土木部 平成12年策定 平成20年5月改訂）</li> <li>・大畑沢砂防事業全体計画</li> </ul>
事業の有効性	事業を巡る社会経済情勢等
	<p>○社会経済情勢</p> <p>昨今の集中豪雨等により、全国各地で土砂災害が多発しており土砂災害対策に対する社会の要請は今後ますます高まっていくと思われる。今年度においては14名の死者が出た平成21年7月の山口県防府市における特別養護老人ホームへの土石流被害等を受け、土砂災害の脅威と予防対策の重要性が再認識されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年発生件数1,441件、死者25名</li> <li>・平成19年発生件数966件</li> <li>・平成20年発生件数695件、死者行方不明者20名</li> </ul> <p>○地元情勢、地元の意見</p> <p>平成21年10月8日に台風18号による土砂災害が発生し、床上浸水・一部損壊家屋が2軒、床下浸水家屋が8軒発生しており、再度災害防止の観点から恒久対策への要望が非常に強い。</p>
事業の有効性	事業効果
	<p>○想定される事業効果</p> <p>事業の実施により、今回台風18号により被災を受けた人家10戸について、今後の降雨に伴う土石流に対する安全が確保される。また、下流部に位置する県道北上津山線ならびに市道が保全されることにより、地区住民の重要な生活道路の安全が確保され、また土砂災害発生時の安全な避難路が確保される。</p> <p>※保全対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人家10戸</li> <li>・県道150m（北上津山線）</li> <li>・市道160m</li> </ul>

事業の効率的性	<b>関連事業の概要・進捗状況等</b>																				
	事業概要：砂防えん堤 1基（平成21年度災害関連緊急砂防事業） 進捗状況：平成21年度完成予定																				
	<b>代替案との比較検討</b>																				
	地域住民は昔から当該地域において生活を営んでおり，集団移転などの代替案などは地域感情を考慮すると困難である。																				
	<b>コスト削減計画</b>																				
	既設護岸等の現況施設を最大限に活用し，新規施設を極力縮小する計画としている。																				
	<b>費用対効果</b>																				
	<u>根拠マニュアル：治水経済調査マニュアル</u> <span style="float: right;">（平成21年2月改訂版）</span> <u>社会的割引率： 4%</u> <u>便益算定期間： 50年</u> <u>基準年：平成22年</u>																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">費用項目</td> <td>建設費</td> <td style="text-align: right;">60百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td style="text-align: right;">60百万円</td> </tr> <tr> <td>現在価値（C）</td> <td style="text-align: right;">60百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">便益項目</td> <td>直接被害軽減効果</td> <td style="text-align: right;">1,475百万円</td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td style="text-align: right;">1,475百万円</td> </tr> <tr> <td>現在価値（B）</td> <td style="text-align: right;">634百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比（B/C）</td> <td style="text-align: right;">10.57</td> </tr> </table>		費用項目	建設費	60百万円	維持管理費	-	総費用	60百万円	現在価値（C）	60百万円	便益項目	直接被害軽減効果	1,475百万円	総便益	1,475百万円	現在価値（B）	634百万円	費用便益比（B/C）		10.57
費用項目	建設費	60百万円																			
	維持管理費	-																			
	総費用	60百万円																			
	現在価値（C）	60百万円																			
便益項目	直接被害軽減効果	1,475百万円																			
	総便益	1,475百万円																			
	現在価値（B）	634百万円																			
費用便益比（B/C）		10.57																			

環境への影響と対策	地域指定状況等										
		なし									
環境への影響と対策	影響と対策										
		護岸設計において土羽部分が出る場合は、周辺森林環境に合わせ緑化等を計画する。									
総合評価	事業箇所評価結果										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂防事業（新規事業箇所）</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1位／2</td> <td>2箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	砂防事業（新規事業箇所）		—	1位／2	2箇所	
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)								
	砂防事業（新規事業箇所）		—								
1位／2	2箇所										
総合評価	対応方針										
		事業実施									

(参考資料)

きたかみがわすいけい

北上川水系 大畑沢特定緊急砂防事業

みやぎけん とめし つやまちょう

(宮城県登米市津山町)

大畑沢は登米市津山町横山に位置する溪流であり、保全対象として人家10戸、県道北上津山線100m、市道150mが存在する。当該溪流では、平成21年10月8日、台風18号による時間雨量58mm、24時間連続雨量273mmの集中豪雨により土石流が発生し、下流の人家10戸に床上床下浸水等の被害を与えたため、災害関連緊急砂防事業として採択された。

災害関連緊急砂防事業で本堤は完成するが、下流域には不安定土砂が残留しており二次災害が危惧されるため、災関フォローとして特定緊急砂防事業にて溪流保全工を実施したい。

◆H21災害関連緊急砂防事業

事業費 C=97.92百万円

◆特定緊急砂防事業

全体事業費:60百万円

工期:H22

工種:溪流保全工

H22要求額 : 60百万円



P1: 流出土砂による家屋一部損壊



P2: 流木堆積状況



P4: 溪岸浸食



P3: 床上浸水



床上浸水(一部損壊) 2戸  
床下浸水 8戸

県道 北上津山線

砂防えん堤(H21災関)

溪流保全工(H22特緊)

- 今回流域界
- 不安定土砂堆積域
- 土砂氾濫域
- 崩壊地
- 崩壊残土
- 土石流危険渓流
- 土石流危険渓流
- 土石流危険渓流氾濫範囲
- 被災状況
- ① 床上浸水 N=2軒
- ③ 床下浸水 N=8軒
- 県道、市道
- 滞筋

